

伊賀市議会行政視察報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	釜井敏行	
参加者名	西田方計、宮崎栄樹、百上真奈、森中秀哲、釜井敏行			
①	視察日時	7月6日 15時 00分	視察先	雲南市役所
	視察事項	小規模多機能自治の課題について		
②	視察日時	7月 7日 9時 00分	視察先	波田交流センター
	視察事項	小規模多機能自治の課題について		
③	視察日時	月 日 時 分	視察先	
	視察事項			
【視察の成果】 ・地域自主組織が様々なユニークな事業に取り組む中で、市民一人一人が主体的に地域の課題解決に取り組んでいることを具体的な事例を通して学ぶことができた。紹介された事業を伊賀市の実情に応じて取り入れていくことが可能かどうかをしっかりと研究したい。 ・市水道局から委託されて水道検針をおこなう「まめなか君の水道検針」は、検針だけでなく、全世帯(425戸)への声かけも同時におこなっており、地域の一体感を高めるためにも、市民の生活状況を把握するためにも意義のある事業だと感じた。 ・地域住民の情報を把握するための「福祉カード(住民台帳)作成」は個人情報を入力してもらう必要があるが、協力を得られたのは情報管理を徹底するとともに、地域住民との信頼関係が築けてきたことが大きい。 ・波田交流センター内に設置されている「はたマーケット」は実際に見学させていただいたが、約1000品目の商品が販売されており、地域の方々に愛されている。この「はたマーケット」の成功の要因は①全日本島根協同組合から加盟承認を得たこと②センター職員が店員を兼ねているため人件費がかからないこと、家賃がかからないこと③マーケットに行くための交通手段(たすけ愛号)などがあげられる。 ・地域住民と市役所との関係が「してもらう側、してあげる側」という関係性になっていないのは「円卓会議」の役割が大きい。地域住民、市、議会がそれぞれ対等な立場で議論できる場が大切だと感じた。 ・「1世帯1票制」ではなく「1人1票制」を目指すことで高齢者、女性、若者の声を反映させようと努力している。				
費用	旅費：44,820円 研修参加費：4,000円 合計：48,820円			

5.8.17

旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	釜井 敏行
用務名(目的・場所)	島根県雲南市「小規模多機能自治の課題」について			
	島根県雲南市役所、波多コミュニティ協議会			
用務従事期間 (時間)	従事 月 日	7 月 6 日	従事 時間	15:00～17:00
		7 月 7 日		9:00～11:00
		月 日		～

出張 月 日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代
				路程	運賃	急行料金					
				km	円	円	円	円	円	円	
	伊賀上野	JR	加茂(京都)	26.4	8,030		13,960				
	加茂(京都)	JR	新今宮	51.5							
	新今宮	JR	大阪	10.0							
	大阪	JR	新大阪	3.8							
	新大阪	JR	岡山	180.3		3,180					
	岡山	JR	宍道	205.0		2,750					
	宍道	JR	木次	21.1				4,500	6,900	1,700	
7月7日	出雲市	JR	岡山	220.7	8,030	2,950	14,360				900
	岡山	JR	新大阪	180.3		3,380					
	新大阪	JR	大阪	3.8							
	大阪	JR	天王寺	10.7							
	天王寺	JR	加茂(京都)	50.5							
	加茂(京都)	JR	伊賀上野	26.4				4,500			
	計							円 28,320	円 6,900	円 1,700	円 900
合計							37,820 円				

日当 ¥3,000 は請求しない

領収書等添付用紙

議員名

釜井 敏行

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領 収 証

収
入
印
紙

釜井 敏行 様

¥ 6,900-
宿上代

令和 5 年 17 月 6 日

島根県雲南市三刀屋町三刀屋20

有限会社 上 代

区 分	金 額
現 金	✓
小切手	
カード	
振 込	
相 殺	



ホテル上代

TEL(0854)45-5900
FAX(0854)45-2655

取扱者



ラウンジ

LOUNGE YU

TEL(0854)45-2500

取扱者



領収書等添付用紙

議員名

釜井敏行

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

領 収 書 森中 秀哲 様
Receipt
領収年月日 2023.-6.11
金 額 ￥61,300 (消費税等込み)
[クレジット扱い]
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(30024 20枚)
西日本旅客鉄道株式会社
伊賀上野駅
伊賀上野駅F1発行 40025-02
印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

新大阪 → 岡山 3180円
岡山 → 宇道 2950円
出雲市 → 岡山 2950円
岡山 → 新大阪 3380円

12260円 x 5名分 = 61300円

(森中議員
百上議員
宮崎議員
西田議員
釜井議員)

領収証原本は 森中議員の領収証に添付

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

釜井 敏行

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
7/7	波多コミュニティ協議会 視察料	20,000	1/5	4,000
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				4,000 円

令和 5年 7月 7日

請 求 書

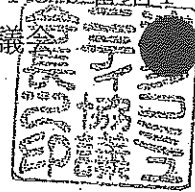
伊賀市議会 森中秀哲様

請求者

島根県雲南市掛合町波多459番地1

波多コミュニティ協議会

会長 木村 守登



請求額 ￥20,000円

但し 波多コミュニティ協議会視察料

(百上真奈、釜井敏行、宮崎栄樹、西田方計、森中秀哲の5名分)

【振込先】

口座振替申込			
下記口座に振り込み願います。			
振込先	ゆうちょ銀行	店名 五三八	店番 538
普通口座	[REDACTED]		
口座名義	ハタコミュニティキョウギカイ ダイヒョウシャ タワラヨシアキ		

令和 5 年 7 月 7 日

領 収 書

伊賀市議会 森中秀哲様

島根県雲南市掛合町波多 4 5 9 番地 1

波多コミュニティ協議

会長 木村 守登



金 ￥20,000 円

但し 波多コミュニティ協議会視察料

(百上真奈、釜井敏行、宮崎栄樹、西田方計、森中秀哲の 5 名分)

領収証原本は森中議員の領収証に添付

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

釜井 敏行

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
7/7	タクシー料金 宿泊地→波多交流センター→出雲市駅	35,000	1/5	7,000
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				7,000 円

釜井敏行

調査研究費・研修費・広報費・広報費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に〇を付)

(該当項目に○をつけてください。)

領 収 書

中 殿

印

紙

二、

ること。

一	金	万	千	百	十	元
		3	5	0	0	0

但し タクシー料金

上記の金額正に領収致しました。

平成 5 年 7 月 7 日

島根県雲南市三刀屋町

三葉タクシー有限公司

電話 木次 42-1055
三刀屋 45-2121
FAX 45-2162

領収証原本は森中議員の領収証に添付

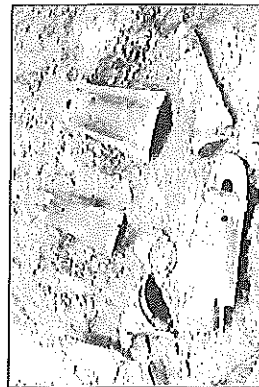


小規模多機能自治による 住民主体のまちづくり

～雲南市の地域自主組織～

令和5年7月6日

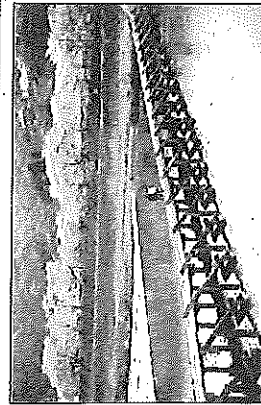
島根県雲南市
(政策企画部地域振興課)



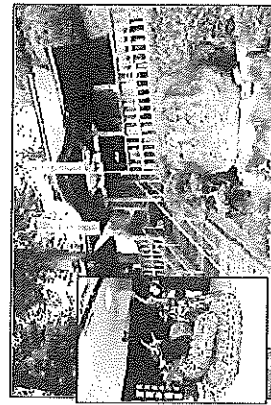
全国最多の39個の銅鐃が出土
(加茂岩倉遺跡・銅鐃は国宝)



たたら製鉄の遺構; 全国唯一の現存する高炉
(宮谷たたら高炉)



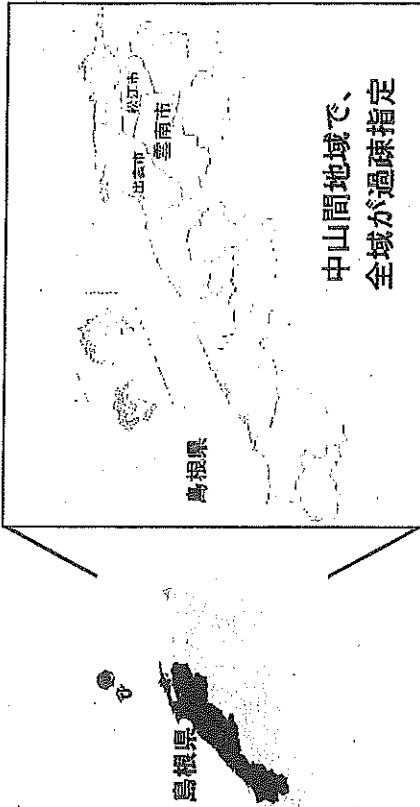
【日本さくら名所】斐伊川堤防桜並木



スサノオノミコト、クシイナダヒメが造ったとされる
「日本初之宮」須賀神社・和歌発祥の地

雲南市の概要

- ・ 平成16年11月1日、6町村で合併し、「雲南市」誕生。



中山間地域で、
全域が過疎指定

■ 面積	553.2km ²	(東京23区の約9割)
■ 人口	36,007人	(令和2年国勢調査)
■ 高齢化率	40.1%	(令和2年国勢調査)

地域自主組織の概要

福祉事業

1、たすけ愛号の運行

地域内交通、無料で送迎

年間 1500 回の利用

波多マーケットの配達

※ 車内にて困りことなどの情報が得られる



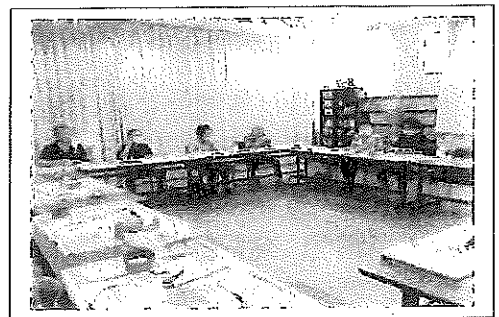
2、ほかほかわくわくサロン

月に 1 回開催

1 回の開催に 10 人から 15 人の参加

毎回ワクワクするような内容のことをする

手先を使い、考えた物づくりや身体を動かしたりして毎回楽しめます。



3、ほかわく体操

第 2、第 4 木曜日に開催

10 人前後の方が参加

※ 始めた頃から参加者が少なく改善するために
さんさん教室の前に行いました。



3、はたスポーツずむ

はたマーケットの隣の部屋に開設

家庭で使われなくなった健康器具をいただき設置

しました。イースポーツも楽しめ、お茶も楽しめる

ようにしてあります解説にあたり以前から親交のある

看護師や、作業療法士からアドバイスをもらいました。

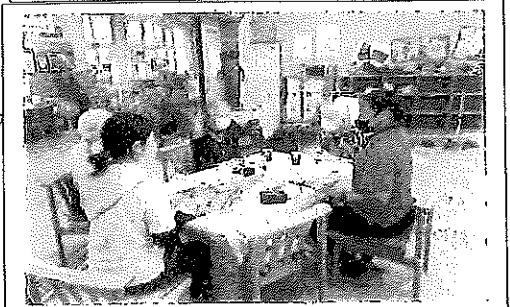
また、季節ごとに波多の 20 代の女性の写真展も開催

しています。「ズム時間」とし地元の方がしておられる

リンパマッサージや道の駅の駅長さんにうんなんPR

やマイナンバーカード申請サポート、町の保健室を

行っています。



伊賀市議会様からの質問事項

1, 波多地区での地域自治の仕組みと取り組んでいる事業

①・・・・スライドP12～

2, 設立（昭和57年）からの役員、住民の意識の変化

① S57～平成12年 自治会連合会の意識（要望団体）

※住民交流は、夏祭り、体育大会、盆踊り、秋祭り等

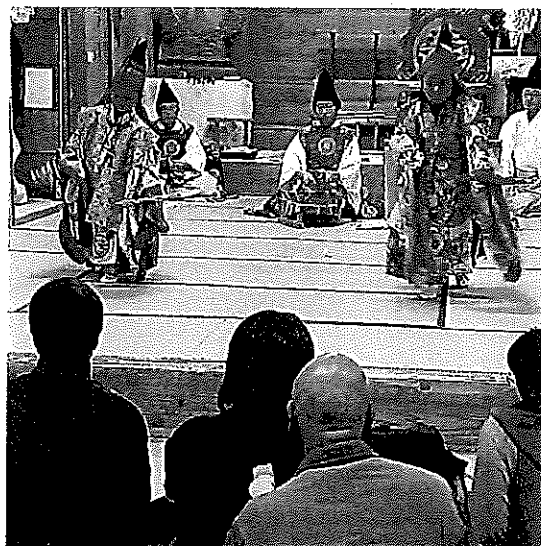
※趣味活動は、踊り、大正琴、習字、お花、写真・・・

② 平成12年～平成22年 公民館活動と波多コミュニティ協議会との共同活動

住民意識の変化：あまり変化はないのではないか

③ 役員の意識の変化：大きく変わった・・・

・・・自ら考え行動するカタチに変化したと認識（個人差有り）



波多神社で行われる神楽

3, 他地区との研修・情報交換の場はあるのか。住民研修の場は？

① 研修の機会は多くあります（年10回程度）

② 情報交換の場：

- ・掛合地域自主組織連絡会（2カ月毎）
- ・雲南市地域自主組織連絡会議（月1回）
- ・その他（会長会議・近隣組織との調整会議）